

第 34 期新潟市社会教育委員会議 懇談会概要

教育委員と社会教育委員との懇談会	
開催日時	令和 2 年 11 月 20 日（金） 午後 1 時 30 分～午後 2 時 30 分
会 場	市役所ふるまち庁舎 4 階 教育会議室 1
出席者	<p>【教育委員】 田中 賢一、渡邊 節子、山倉 茂美、小野沢 裕子、市嶋 洋介、渡邊 純子、大宮 一真、五十嵐 悠介 計 8 名 * 敬称略</p> <p>【社会教育委員】 岡 昌子、角野 仁美、小川 崇、木村 いほ子、雲尾 周、笹川 博人、出頭 久美子、田中 一昭、田中 宏和、山田 久美子 計 10 名 * 敬称略</p> <p>【事務局】 教育長、教育次長 2 名、地域教育推進課長、中央公民館長、中央図書館長、生涯学習センター所長、生涯学習センター職員 3 名 計 9 名</p>
内 容	<p>1 開会</p> <p>2 第 34 期新潟市社会教育委員会議緊急提言の提出 ○雲尾議長から前田教育長に、第 34 期新潟市社会教育委員会議の緊急提言「新型コロナウイルスの影響と社会教育」が提出されました。</p> <p>3 自己紹介</p> <p>4 緊急提言「新型コロナウイルスの影響と社会教育」について (1) 概要説明 ○社会教育委員会議の小川副議長が緊急提言「新型コロナウイルスの影響と社会教育」の概要について説明を行いました。 (2) 新たな取組みについて ○緊急提言に関連し、生涯学習センター所長がオンライン会議システム Zoom の活用推進支援チームの立ち上げについて説明を行い、中央公民館長がオンラインを活用したプレママ学校同窓会について説明を行いました。</p> <p>5 教育委員と社会教育委員との意見交換 ○プレママ学校では実際に会っていた人たちはオンラインでも同窓会が開けたが、会えていない妊婦さんたち、出産した人たちが取り残されることなく、社会教育の面でフォローしていけるといい。 ○公民館では、家庭教育学級終了後にサークルを作る、文集を作るという作業をおし、より深いつながりをつくるようにしている。コロナの影響で制約を受ける中でも、職員は子育て中の人たちを応援しようというマインドで、工夫してつないでいこうとしている。 ○集まれなくなったときにグループを作り交換日記をしたことで、気付きがありよかったという情報を聞いた。メールやチャット、LINE も情報が早く必要だが、ゆっくり落ち着いた交換日記もいいと思った。 ○社会教育施設を避難所として活用するため、利用したことのない人たちに周知させる方法を探っていくということだが、具体的な方法があればお聞きしたい。 →ビデオで動画を撮影すると動線が分かるため、見たことのない人にそのような映像を出していく。社会教育施設がそれらを ICT で発信することにより、避難所としての利用も、通常の事業などの利用にも、今まで来なかった人たちがかわり、社会教育人口が増えていくのではと期待している。</p>

<p>内 容</p>	<p>○社会教育施設を利用する層は限られている。若い人は LINE やインスタグラムに移行しているため、それらを利用して、これからをつくる人たちから目を向けられるようになってほしい。</p> <p>○避難所の役割として Wi-Fi 環境の容量もある。停電時の無停電装置など、万が一に備えて公共施設としてどこまで整備しておかなければいけないかということ、改めて考えるきっかけになったのではないかな。</p> <p>○IT を使いこなしていくことが必要になるが、それに伴い、個人情報の映り込みなどの注意事項も、社会教育施設側から最初のハードルを下げる意味で、分かりやすく発信することも同時に必要だと思う。</p> <p>○社会教育で一番大切にしなければいけないことは人と会うことだと思うが、人と会えないときに LINE を使うなどして事前につながっておくことも大切である。今までかかわっていなかったが、Zoom などであればかかわれるという人もいるのではないかな。一步を踏み出すための仕掛けの工夫があると、家からなかなか出られないような人も取り込んでいける。社会教育施設のあり方も提言をもとにいい形になっていってほしい。</p> <p>○コロナ禍の中でまとめた緊急提言が、年数経過後に読み返すことで、当時のことを振り返ることができる貴重な資料になると感じた。</p> <p>○元市民や新潟市に直接かかわりが無い人を、今後は対象にすることも視野に入れるという提言があり、そのことで交流が広がったり、刺激になったり、新潟が活性化していくことは素晴らしく、希望が持てる。そのような流れもできていくといい。</p> <p>○オンラインは、いろいろな場所から、場所に縛られず学ぶことができる。録画したものを後で見ることは、コミュニケーションはできないが、時間を超える。仕事のため昼間は興味のあるものに参加できない人が、夜間に学ぶことができ、可能性が広がると期待する。</p> <p>○公民館の運営審議会で各館の事業の説明を聞くと、どの館も工夫をしながら取り組んでいる。できなかったこともあるが、新しい工夫によって、また新たな取組みが生まれてきていると強く感じる。</p> <p>○東日本大震災のころから想定外という言葉がよく使われてきたが、想定外と言うと責任逃れのように感じる。想定外と簡単に言うのではなく、必死に考え何とか道を見つけていく道筋をつけてくれるのが、この提言であると思う。</p> <p>○提言にあるようにオンラインのメリット、デメリットがある。顔を見せないことで自由に発言できたり、ニックネームをつけて本名を出さないことで発言できたりする学生もいるが、大切なことは、顔と顔を合わせ、手と手を結びながら自分の思いを伝えていくことであると思う。</p> <p>○「はじめに」の中で、高齢者のフレイル予防に触れていて素晴らしい。平成 31 年に市がフレイル予防を掲げていることを考えると、コロナ禍での今後の課題になるのではないかなと思う。</p> <p>6 閉会</p>
<p>会議資料等</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員と社会教育委員との懇談会 次第</li> <li>・教育委員と社会教育委員との懇談会 出席者名簿</li> <li>・「プレママ学校」オンライン同窓会</li> </ul>